

# 「協働・共創」と、「広域連携」で 「多摩地域」を活気ある地域に

「多摩CBネットワーク」「多摩ソーシャル・ライターズ  
倶楽部」「多摩メディアセンター」実践報告

多摩CBネットワーク世話人

調布アットホーム代表

多摩ソーシャル・ライターズ倶楽部代表

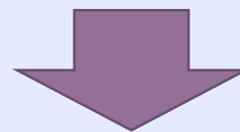
石原靖之

# すべてののはじまりはここから。

1967年兵庫県姫路市生まれ。  
調布市布田在住。出版・編集業



- 1年間かけて
- 30市町村の自治体
  - 創業支援関など関連機関
  - 趣味サークル
  - ボランティア
  - 生涯学習&シニアスポーツ
  - 2拠点移住、などを取材



## ●2009年

東京市町村自治調査会発行  
「多摩セカンドライフ大満足辞典」  
編集&プロデューサー。  
1年間多摩エリア30市町村を取材

「コミュニティビジネス」という  
「地域活動スタイル」と出会う

# 多摩地域における 「コミュニティビジネス」普及のための 中間支援組織「多摩CBネットワーク」



2009年1月24日の最初のシンポジウムの  
ゲストは横石知二氏

## 2009年2月に発足

CBとは・・・  
地域課題解決や活性化  
などにビジネススタイルで  
関わること



→「多摩セカンドライフ大満足辞典」で  
最初の立ち上げイベントを取材

少子高齢化・税収減の地域を支える  
市民の地域参加のスタイル

→ **これだ！**

→経費を使ってすべてのセミナーなど  
イベントを取材

→「多摩セカンドライフ大満足辞典」の  
半分の人物インタビューは  
「コミュニティビジネス」に類する  
事例に！

発起人3名の次にすべてを知る  
立場になり、2010年4月、  
「世話人」に就任



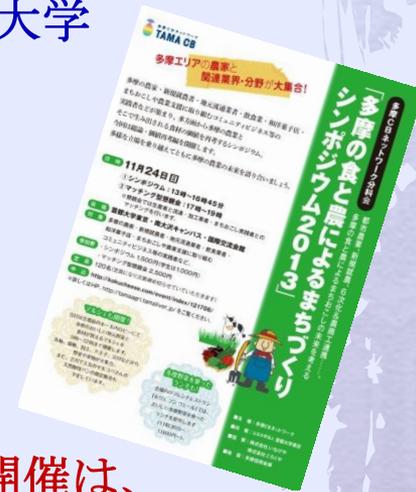
2013年3月 首都大学東京で開催

- 年1回大学を借りてシンポジウム
- 中間支援ギャザリング
- 「子育て」「シニア」「農業」「メディア」「RESAS」等テーマ別の分科会やイベント開催。
- ◎ゆるやかなネットをつながるだけ。
- ◎代表も組織もない不思議な団体

- 2009年 三鷹ネットワーク大学
- 2010年 亜細亜大学
- 2011年 東京経済大学
- 2012年 一橋大学
- 2013年 首都大学東京
- 2014年 成蹊大学



2015年 2016年3月5日開催は、  
ついに電気通信大学！



→現在、多摩地域に市民、団体、企業、行政など会員450名に！

# 「協働・共創」の流れを調布市にも

2010年4月1日

「調布コミュニティビジネス推進委員会

『調布アットホーム』設立

- 大前勝巳、杉山裕子、菅野秀樹、入山敏之の数名の友人でスタート
- 堀池喜一郎氏と電通大リーサスにて「はじめの一歩塾」
- 定例会「アットホームカフェ」毎月開催
- 「コミュニティビジネス講座」毎年開催
- 「ワールドカフェ@調布」定例開催
- 「コミュニティビジネスコンペ」開催。今年も！
- 福祉作業所等連絡会と「わくわーく」4年発行
- 2014年は「ヘルプカード普及プロジェクト」
- 2015年は市制60周年イベント「未来会議」開催
- 現在、市民、団体、企業、大学など会員30名



5年半の活動で誕生した  
調布アットホームの  
愉快的仲間たち

2010年9月発足  
「多摩ソーシャル・  
ライターズ倶楽部」  
(職業的地域貢献)

2011年12月発足。  
「NPO法人ちょうふ  
子育てネットワーク」  
(「aona」運営)

「調布CBチャレンジ  
コンペ2011」で登場  
「調布アイランド」  
(2012年9月  
一般社団法人化)

2013年1月発足  
「調布・まちシネマ」  
(過去5回まちなか上  
映を実施)

2014年1月誕生  
「**CHOFU  
PICNIC**」(アン  
ジェで2回マルシェ。  
その後休止中)

2015年4月再結成  
「ITS(イツ)」  
(地域のIT&ソーシャ  
ルメディア活用支援)

2015年4月誕生  
「調布ぬのまち  
プロジェクト」  
(ワークショップ・布製  
品の商品化)

調布コミュニティビジネス  
推進委員会

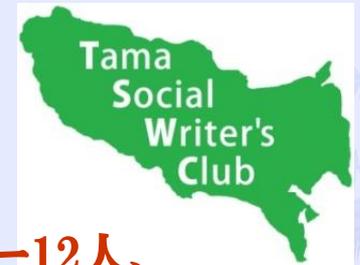




# 多摩ソーシャル・ライターズ倶楽部

職業的地域貢献

## 職業的スキルと地域へ



- メンバー  
多摩各地のライター12人、  
デザイナー、カメラマン、  
イラストレーター

- ◎たましん「たまNAVI」制作
- ◎西東京市「匠NAVI」制作
- ◎武蔵野市「HPキッズページ」
- ◎武蔵野市市報  
「正月号市長鼎談」5年



たましん「たまNAVI」を5年で31冊制作。  
多摩地域の企業を700社取材

多摩CB  
ネットワーク

調布  
アットホーム

多摩  
ソーシャル・  
ライターズ  
倶楽部

多摩地域の  
広域な情報が  
わからない

情報が広く  
飛ばない

広く宣伝ができ  
ない。広域広  
報ができない

多摩地域の課題

多摩地域で  
「広域広報」「広域宣伝」できていない。  
できる仕組みがない

多摩地域に  
突き刺さっている矢

# コミュニティビジネスの手法で、 課題解決モデルを熟考

**【地域課題】**  
「広域広報」「広域宣伝」  
できない。

**【前提】** 今さら、  
地方新聞社、出版社を  
作っても仕方ない

**【CB手法】**  
今ある地域  
資源で解決

**【地域資源】** 市町村単位にある地域メディア

**【解決】** 地域メディアの「ネットワーク」創生

**【解決】** 広報・宣伝をワンストップ受託「多摩メディアセンター」創設

多摩CBネットワーク  
+『多摩セカンド  
ライフ大満足辞典』

多摩ソーシャル・  
ライターズ倶楽部  
+『たまNAVI』

調布アットホーム  
の活動

マスコミ経験

企業、大学、  
各地域のネット  
ワーク&地  
域メディアの  
ネットワーク

地域金融機  
関「たましん」  
さんとの信頼  
関係+企業と  
のネットワーク

地域・関係機  
関・市民など  
との関係の  
作り方

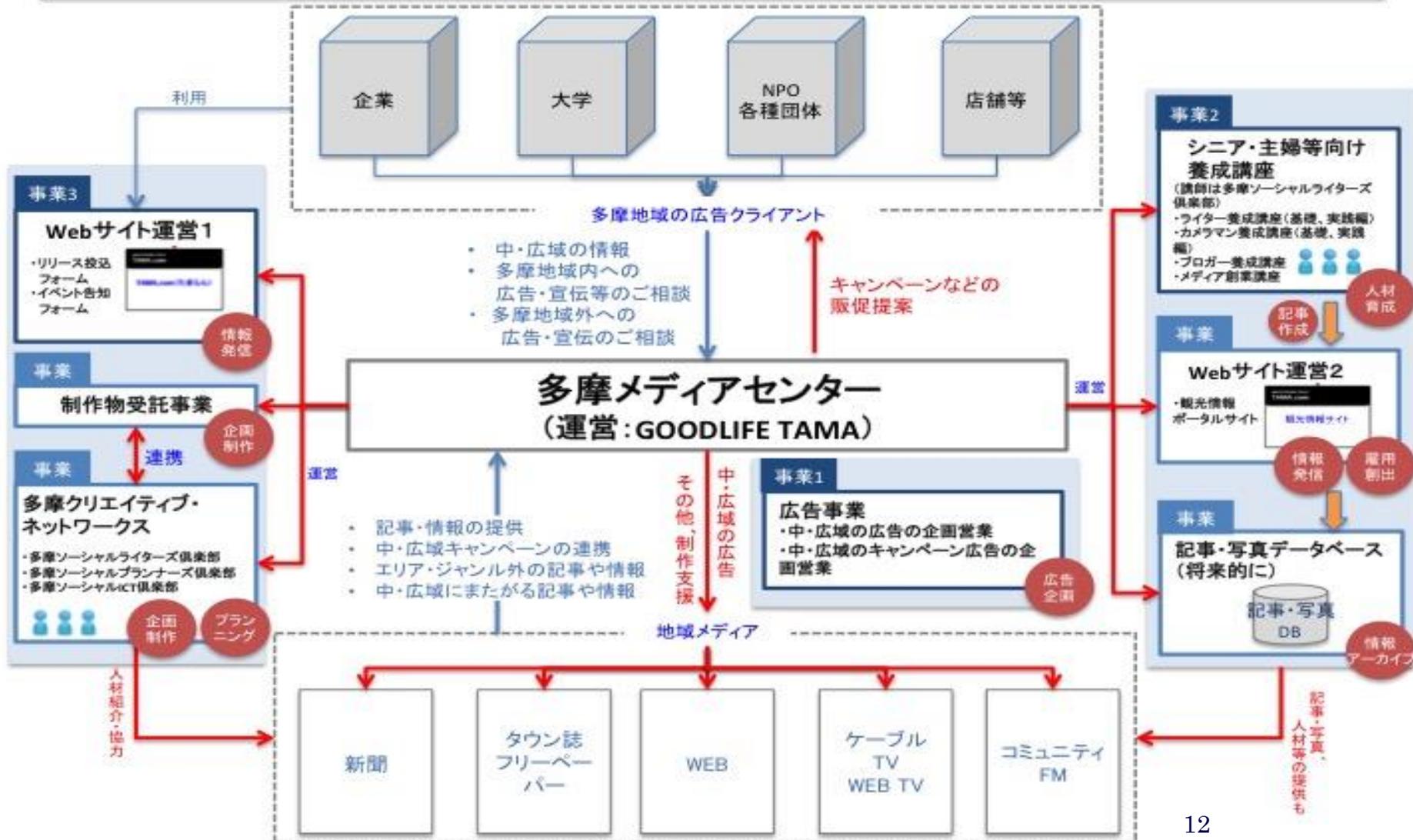
マスコミ的ノウ  
ハウ・人脈、  
複眼的視野・  
コーディネー  
ト力

解決できるのは自分しかいない。  
知ってしまったからにはやるしかない。

約1年半をかけて地域メディア関係者や  
CB関係者と、事業化をプランニング

# 多摩地域の情報を域外へ ← 多摩地域外のニーズ

## 多摩地域の情報・人材が流通するインフラ構築(事業相関図)



【基幹ビジネス】

- 事業1、多摩地域を元気にするための「広告代理店」機能＋「プレスセンター」機能＋「制作」機能＝『多摩メディアセンター』
- 事業2、「メディアセンター」のホームページを、「イベント集客支援サービス」や「多摩の観光的サイト」などのWEB運営事業
- 事業3、加盟メディアへの、インフラ提供「広域事業提案&運営」の場を提供
- 事業4、プランナー、IT関連、執筆編集関連の事業者の集団、「多摩クリエイティブ・ネットワークス」の創出と雇用創出事業
- 事業5、シニア・主婦をプロライターに養成する「養成講座」事業および、「記事のデータバンク」化と、記事・人材を地域メディアに配給事業

【応用ビジネス】

- 事業6、インフラを活用した大学、行政、企業などと組んだ各種広域広報&キャンペーンなど活性化事業
- 事業7、観光協会、行政などと連携した多摩地域の広域観光広報支援事業。観光WEBサイトの英・中国・スペイン語配信。各国サイトにサイト開設。
- 事業8、多摩のエリア全体の物産、商工、観光、カルチャーなどの冊子・映像・WEB、音声などの制作受託&業務配給配信事業
- 事業9、メディア連合ならではの啓発イベント、セミナー事業

# 株式会社 「GOODLIFE TAMA」

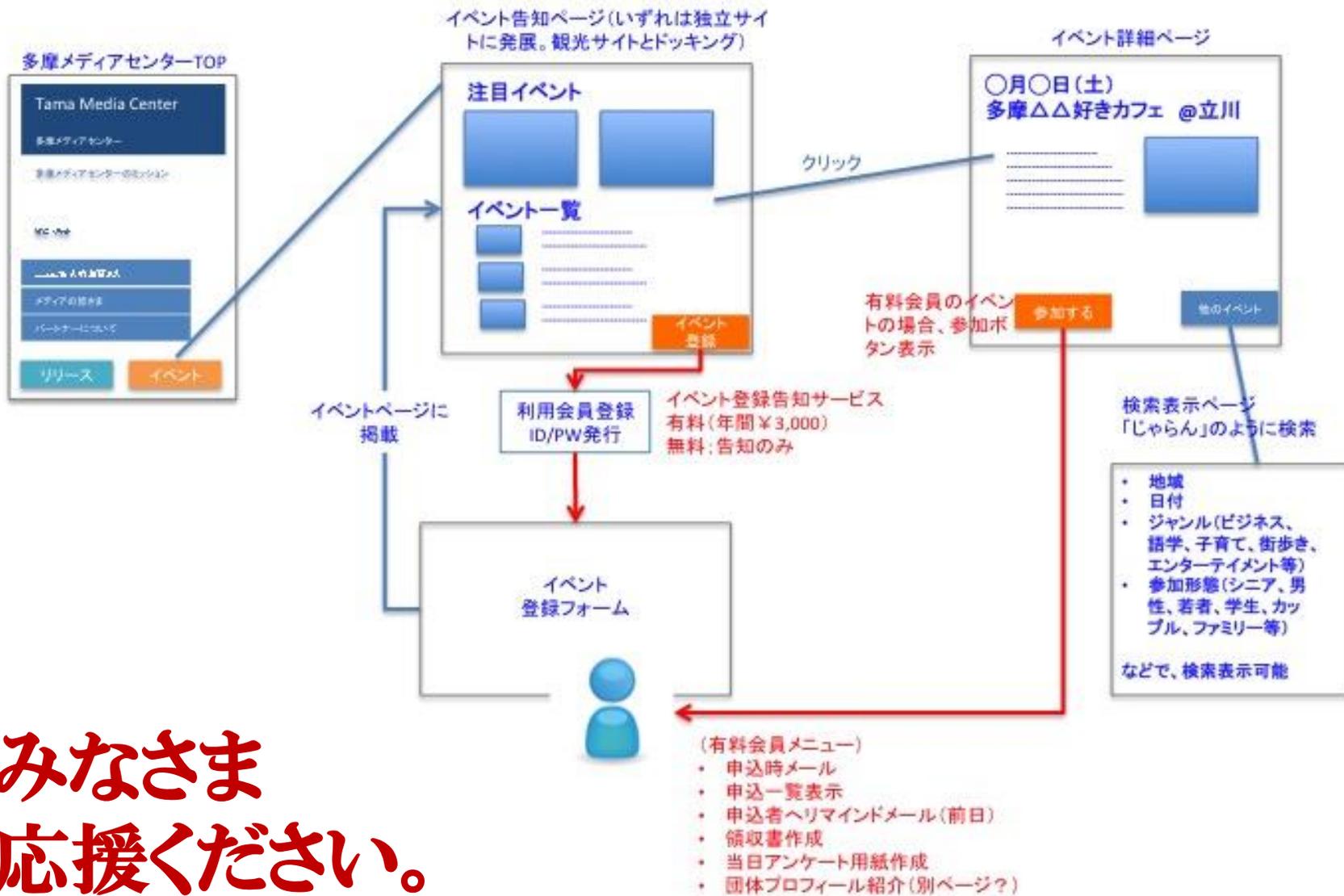
## が生み出すもの

- POINT1 今までなかった多摩地域の「広域広報」と「広域宣伝」を可能にします。
- POINT2 ローカルメディアのネットワークを創出。既存メディアの収益面・情報&人材面などを支援します。また、多摩地域に地域メディアに我々のインフラを提供。中・広域事業の応援もします。
- POINT3 多摩のクリエイターの活躍の場、仕事を創出します。
- POINT4 シニア・主婦の活躍の場、仕事を創出します。
- POINT5 地域メディアのない地域へ、地域メディアの創出を啓発・支援します。
- POINT6 このインフラを活用して、多摩地域の物産、商工、観光、カルチャーなどの情報を国内外に発信していきます。
- POINT7 このインフラを活用して、企業やさまざまなセクターと協力して、多摩地域の活性化につとめます。

# 株式会社 「GOODLIFE TAMA」

## と他社との違い

- ポリシー1、 すべてが多摩地域の活性化に向けた事業を行う会社。
- ポリシー2、 地域を活性化するための広告代理店。一般の広告代理店業務も行うが、メインは、地域を活性化、課題解決をするための大義があるスキームを実行するために、広告を集めたり、出稿や資金参加などの促進などの営業活動を行う。
- ポリシー3、 あらゆる業務に置いて、我々が多摩地域から逃げない。企業などあらゆるセクターの悩みや要望を聞き、そのためにあらゆる資源とネットワークを駆使して、解決に付き添う。
- ポリシー4、 我々は市場やネットワークを独占しない。我々と「事業ポリシー」や「メディアポリシー」、「クリエイターポリシー」のあった関係者と提携し、「多摩地域活性化事業」に取り組む。
- ポリシー5、 我々は妥協しない。最善策をみつけ、最善のスキームで最善の答えを出すまで、あきらめない。妥協しない。



みなさま  
応援ください。

他地域へ情報発信  
域外人口の流入

「協働・共創」と「広域連携」による  
エリア活性化モデル

ある地域もしくはテーマ

マッチング &  
コラボ  
機会創出

自治  
体

市民  
ナレッジ

商  
工  
会

地元  
メディア

団  
体

自  
治  
体

商  
店  
会

教  
育  
機  
関

3セク

観  
光  
協  
会

他  
の  
自  
治  
体

他  
地  
域  
の  
企  
業

地  
域  
外  
の  
広  
告

地  
域  
外  
メ  
デ  
ィ  
ア

地  
域  
外  
の  
ク  
リ  
エ  
イ  
タ  
ー

他  
地  
域  
の  
市  
民  
ナ  
レ  
ッ  
ジ

★新たな  
フレームと  
場の創出  
&提供

域内へ情報発信

★情報の発信・受信のインフラの提供  
★「インバウンド」など必要テーマの  
ワークショップやシンポ開催

多摩メディアセンター

～多摩地域の魅力、課題、そして未来を語り合おう～  
**「多摩地域の豊かな暮らし」の魅力を  
 再発見するワークショップ**

# 『フューチャーセッション TAMA2015』

## ■第1部

### ◎基調講演

首都大学東京 菊地俊夫教授  
 「あらためて知ろう 多摩の魅力、  
 豊かな暮らし、その可能性」

### ◎ミニ事例講演

御嶽在住 森の演出家 土屋一昭氏  
 「奥多摩の暮らし、魅力とその実践報告」

## ■第2部

ワークショップ「みんなで語り合おう、  
 多摩地域の魅力、課題、そして  
 「10年後の多摩の未来設計図」

## ■開催概要

日時:12月13日(日)13時～16時  
 会場:首都大学東京 南大沢キャンパス 91年館  
 主催:「GOODLIFE TAMA」多摩情報発信プロジェクト  
 共催:多摩CBネットワーク 協力:首都大学東京

「多摩地域の豊かな暮らし」の魅力を再発見するワークショップ

# フューチャーセッション TAMA2015



多摩  
 魅力再発見  
 イベント  
 Vol.001

参加者募集!

12.13 SUN

@ 首都大学東京  
 南大沢キャンパス

食、農、自然、地勢…

多摩地域の多様な魅力を再発見するとともに、  
 より豊かな暮らしができる多摩地域を目指して、  
 「多摩地域の10年後の未来設計図」を語り合うワークショップです。  
 「啓発的な講演」だけでなく、地域課題なども語り合い、  
 「未来図」に向けて今わたしたちにできることも考える2時間30分です。  
 多摩地域に愛着を感じ、思いのある方ぜひご参加ください。

プログラム

13時00分～ 開始(開場12時30分)

13時10分～ 講演 / 首都大学東京 菊地俊夫教授  
 「あらためて知ろう 多摩地域の魅力、豊かな暮らし、その可能性」

14時00分～ ワールドカフェ /  
 「みんなで語り合おう、多摩地域の魅力、課題、そして未来」  
 終了 / 15時30分

お申し込みは、下記の申し込みフォームからお願いします。

<http://kokucheese.com/event/index/339879/>



問合せは、「GOODLIFE TAMA」多摩情報発信プロジェクトの石原090-4628-2516まで

主催:「GOODLIFE TAMA」多摩情報発信プロジェクト

共催:多摩CBネットワーク

協力:首都大学東京

会場:首都大学東京 南大沢キャンパス  
 91年館(正門左へ。南門正面)

日時:12月13日(日)13時～15時30分  
 (12時30分開場)

参加費:500円

※「GOODLIFE TAMA」多摩情報発信プロジェクトは、多摩CBネットワークから生まれたプロ  
 ジェクト。情報発信分野で活躍する多摩在住クリエイターが、多摩地域を活性化しようとして2014年  
 9月にプロジェクトを立ち上げました。本イベントはそのオープニングイベントです。

多摩CBネットワーク権限イベント



※2016年2月に第2弾イベント「多摩地域のメディアクリエイターが語り合う多摩地域の魅力と情報発信フォーラム」の開催を予定しています。

～多摩地域の魅力、課題、そして未来を語り合おう～  
**「多摩地域の豊かな暮らし」の魅力を  
 再発見するワークショップ**  
**『フューチャーセッション  
 TAMA2015』**



多摩広域連携事業の  
 第一歩となるイベント。  
 約40名の方が参加者。



菊地先生  
 農空間の残る景観  
 & 玉川上水が資産

土屋氏  
 奥多摩は森林率  
 95%。関係地の発想  
 で世界から注目



石原氏  
 広く情報を知り合う  
 ことで連携や事業化  
 ができる。



でも西多摩地域は  
 人口減。この4月に  
 五日市線の本数減  
 という問題も



～多摩地域の魅力、課題、そして未来を語り合おう～  
「多摩地域の豊かな暮らし」の魅力を  
再発見するワークショップ  
『フューチャーセッション  
TAMA2015』



トカイナカな多  
摩に住みたい  
人は多い

資源は多数ある。  
あとはつなぐこと  
かなあ

多摩の魅力を定  
義して情報発信  
するといいい



400万人は国と  
同じ規模。無限  
の可能性がある



第2部は70分の  
ワールドカフェ

行政単位が孤  
立。広域連携  
があるとなあ



～多摩地域の魅力、課題、そして未来を語り合おう～  
「多摩地域の豊かな暮らし」の魅力を  
再発見するワークショップ

# 『フューチャーセッションTAMA2015』



●次回の「フューチャーセッションTAMA2015」は、「多摩のメディアとクリエイターが考える多摩地域の魅力と情報発信フォーラム」（一般の方も歓迎）と題して、年明け2月か3月に開催予定です。

●4月か5月には、「多摩地域の連携したインバンド事業を考えるフォーラム」（一般の方も歓迎）の開催の準備もしています。



**ご清聴ありがとうございました。  
「多摩メディアセンター」を  
よろしく申し上げます。**

**代表 石原靖之**

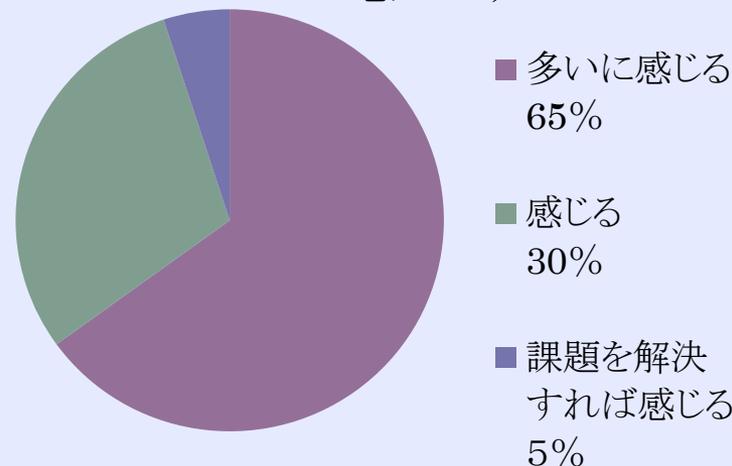
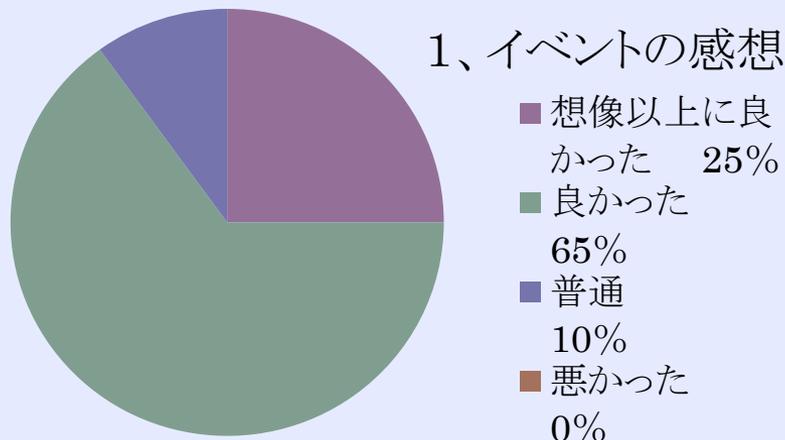
～多摩地域の魅力、課題、そして未来を語り合おう～

「多摩地域の豊かな暮らし」の魅力を  
再発見するワークショップ

# 『フューチャーセッション TAMA2015』

【付録1】

## 2. 多摩地域に可能性を感じますか？



### ●参加の感想

- ・異文化コミュニケーションが素晴らしい。
- ・ネットワークが広がる可能性を感じた。生の声が色々聞けて良かった。
- ・ワールドカフェで一緒になった方々と良い議論ができた。良い出会いがあった。
- ・多摩はまだまだポテンシャルはある！ 情報インフラの強化が必要。
- ・「多摩地域」は、これからなのか、関わっていく、おもしろさだと思います。
- ・ワールドカフェの問いのハードルが高かったが、他のグループの話が面白かった。出た内容を発表する場所が用意されていることが、素晴らしかった。
- ・グループ内でじっくり話げできた。やり方次第。まず魅力の再確認と方向性を定めて進めば、よいエリアになる。「ここが多摩」ということをもっと知ってもらう必要。etc.

～多摩地域の魅力、課題、そして未来を語り合おう～  
**「多摩地域の豊かな暮らし」の魅力を  
 再発見するワークショップ**  
**『フューチャーセッション  
 TAMA2015』**

●多摩地域の魅力

- ・つながれる要素がいっぱい。地域毎の文化がある。
- ・四季を感じれる。水がおいしい。緑が多い。奥多摩が資源。
- ・都会の人の癒しの場
- ・自然近い、都会近い。農地が多い。立地の良い場所。
- ・都心に比べるとまだまだスペースに余裕がある。
- ・中央線はひと駅ごとに文化が違う。「多摩て箱」。
- ・なんでもある。誰でもいる。「多様なプロ」がいる。
- ・素のままです。ホッとするエリア。 etc.

●多摩地域の課題

- ・情報を知るチャンスがない。情報伝達力が弱い。
- ・多摩全域の情報が飛んでいない。
- ・多摩地域に新しいコミュニティが作られていない
- ・点と点とが繋がっていない。
- ・多摩ニュータウンや、山間地の住宅地の過疎化
- ・地元での働く場が少ない。都心へ働きに行く。
- ・多摩でくくる定義が弱い。 etc.



～多摩地域の魅力、課題、そして未来を語り合おう～

「多摩地域の豊かな暮らし」の魅力を  
再発見するワークショップ

## 『フューチャーセッション TAMA2015』

### ●多摩地域「10年後の未来予想図」

- 人口減エリア。土地安、交通減、都市部に人口流出する。
- 都心部から多摩地域→奥多摩へ。人口が増える。
- 地域毎の問題点の把握。民間主導で個性ある地域にする。
- 外国人の来日エリアから、多く住むエリアにする。
- 多摩県を作る。独自予算を持つ。
- ローカル発→グローバルビジネスを展開する。
- 各市をひとつのネットワークにする
- 交通インフラを良くする。整備する。
- 「郷土愛」の持てる地域にするため地域の「歴史・文化」の学習 機会を増やす。「多摩LOVE」の人を増やす。
- 奥多摩にIT企業を誘致。IT先進エリアにする。
- 横田基地が民間に。多摩が東京の玄関になる。  
交通インフラが変わる。
- 便利を求めると多摩が「スカスカ」の街になる。
- 「自治」をする住民だらけの地域になる。

